

2023年9月 イヴ・アンリ教授 公開レッスン 聴講プログラム

会場:ベヒシュタイン・セントラム東京 ザール

2023年9月4日(月)

10:00-10:50	ショパン:ポロネーズ 第7番「幻想」変イ長調 Op. 61
11:00-11:50	ショパン:スケルツォ 第1番 口短調 Op. 20
12:00-12:50	シューベルト:幻想曲 「さすらい人幻想曲」第2楽章 D760 Op. 15

9月5日(火)

10:00-10:50	ショパン:ワルツ 第1番 「華麗なる大円舞曲」変ホ長調 Op. 18
11:00-11:50	シューマン:ダヴィッド同盟舞曲集 Op. 6 より
12:00-12:50	ショパン:ピアノ・ソナタ 第3番 第1楽章 口短調 Op. 58

曲目は変更となる場合がございます、変更となった場合はHP、SNSでご案内いたします。

イヴ・アンリ Yves Henry



ピアニスト兼作曲家のイヴ・アンリは故ピエール・サンカンに師事。室内楽、伴奏、コーラス指揮コース専攻、同時に作曲クラスにも所属、22歳までに作曲で七つの優秀賞取得。その後アルド・チッコリーニに師事。1981年ロベルト・シューマン国際コンクール第1位。その後ロマン派時代を中心にしたリサイタルを世界各地で数多く行い、定期的に、アメリカ、日本、中国などから、コンサート及びマスタークラスに招かれている。国内外の音楽祭にも多数参加、主要な国際コンクールの審査員を務める。2011年よりノアン音楽祭会長就任。2015年ショパン国際ピアノコンクールの事前審査員、2015年ポーランド・ショパンコンクールのヤング部門の審査員、2016年、2018年ノアンフェスティバルショパン・イン ジャパン・ピアノコンクール審査委員長、

ドイツ・シューマン国際音楽コンクール審査員。) 2023年第2回ショパン国際ピリオド楽器コンクールの審査員の一人に選出される。2000年半ば、サル・プレイエルにてショパンのプレリュードOp.28をCDとDVDに録音、録画。ショパンの時代と現代のプレイエルを使用し、ショパンの生涯、そして音楽言語の深い研究、加えて1840年代の奏法を掘り下げた演奏は、注目を浴びる。2010年9月にユーロピアノ株(現 株式会社ベヒシュタインジャパン)よりベヒシュタインで弾くリスト作品集、2018年9月に「ドビュッシーとわが人生」をリリース。国際ショパン協会のメンバーであり、2010年のショパン200年祭に際しては、ワルシャワでプログラム委員を務める。同年3月には日本ピアノ教育連盟研究大会の講師を務め、名誉会員となり、同年フランス文部省より「芸術と学問 騎士勲章」、またフランスのショパンイヤーの貢献をたたえ、ポーランドのグローリア・アルティスを受賞される。現在、パリ国立高等音楽院、パリ地方音楽院にて教鞭をとる。演奏者として、また教授としてだけではなく作曲家としても活躍する。近年では2014年にパリとドイツで初演のオーケストラ向けノクターンを作曲。ポール・デュカの魔法使いの弟子、モーリス・ラヴェルのラ・ヴァルス、ポロディンのダッタン人の踊りなどのオーケストラ作品をピアノ曲に編曲を行い、CDを2015年にリリースした。

■聴講のお申込み・お問合せ

ベヒシュタイン・ジャパン 本社ショールーム
TEL:03-3305-1211 MAIL: klavierschule@bechstein.co.jp

主催: 株式会社ベヒシュタイン・ジャパン